

県代表幹事コメント

祝 辞

福岡県代表幹事 **空 田 安 博**



日本小児歯科学会九州地方会30周年記念を迎え、心からお祝い申し上げます。30周年と言えば私も歯科医師になって30年を迎え、私の歯科医師の人生がひとえに九州地方会の歴史そのものだと言っても過言ではないでしょうか。

昭和58年10月に第1回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会が福岡歯科大学で開催されたのを今でも思い出されます。当時、私は福岡歯科大学を卒業し九州歯科大学小児歯科学講座の大学院1年生でした。発表される先輩のお手伝いで忙しかったことが記憶に残っています。その後は私も順調に大学院を卒業し九州歯科大学小児歯科学講座助手そして小児歯科専門で開業することになりました。

直接に九州地方会に関わりを持つようになったのは、平成18年に橋本敏昭先生が九州地方会会長なられた時でした。それまでは九州地方会は大会に出席だけの傍観者でよかったものが、福岡県幹事・広報担当の役員させていただいたおかげで、九州地方会運営者側からの立場で様々な問題を解決していく方法を学びました。さらに現状の問題点が良く分かり、将来の九州地方会のあり方まで考えるようになりました。

今後とも私なりに九州地方会に何かお役に立てることがあれば率先して参加させていただきたいと思っております。

地方会の役割とは

福岡県代表幹事 **柏 木 伸 一 郎**



九州地方会が30周年を迎えますが、これは私の開業の歩みとほぼ重なります。その間、診療内容も齲蝕の洪水の時代から予防、定期健診へと移り変わっています。子ども達の口腔内や社会状況の変化に伴い、地方会の果たす役割も変わってきていると思います。

初期の頃は、大学間の交流が大きなウエイトを占めていたような気がします。学会も人と人の繋がりの上に成り立っていますので、今後も開業医やスタッフも含めた交流は大切でしょう。小児歯科を九州各地に根付かせるため、講演やシンポジウムも開催して頂いています。これも各地に研究会が発足したことから、目的は達成しつつあると思います。勿論今後とも、診療内容の充実のため引き続き実施していく必要があります。

これからの地方会の役割は何かと考えると、若い人の育成ではないでしょうか。魅力をアピールして、小児歯科を志す人を増やしていくのは勿論ですが、その人達を小児歯科医として育てて行くことが大切だと思います。大学は教育機関なので、その点本来の仕事でしょうが、開業医としても何か出来ないかと考えます。巷で言われていますが、小児歯科も世代交代の時期を迎えています。若い人が育つということは、後を引き継いでくれる人が育つということです。世代交代するには、必要なことです。これからの学会との関わりの中で、「若い人の育成」をキーワードに取り組んで行こうかと思っています。